

■雪に備えて早めの対策を

平成26年2月の大雪は、これまでの観測記録を大幅に更新し、山梨県内全域で、甚大な被害を及ぼしました。

気象庁発表の「向こう3か月の天候の見通し」（平成29年10月25日発表）によれば、関東甲信地方は気温、降水量ともに平年並みですが、過去の積雪及び寒害を教訓にして、油断なく警戒することが重要です。気象庁（甲府气象台）等の降雪情報に注意し、被害防止のため、次の対策を講じましょう。



【野菜・花き】

- 露地野菜花きでは、降雪または降雨後の低温による凍害が懸念されるため、被覆資材等で作物を保護しましょう。
- 加温ハウスでは雪が積もる前から暖房機を稼働させるとともに、二重カーテンをあけて融雪に努めましょう。
- 無加温ハウスでは、簡易ストーブで加温し、融雪させ、補助支柱を設置して補強しましょう。未使用ハウスではビニールを巻き上げるか、除去し、積雪による倒壊を避けましょう。
- トンネル等の準備を行うほ場では、堆肥の散布による融雪対策等を行い、準備が遅れないようにしましょう。

【果樹】

- ブドウ、キウイフルーツ、雨よけハウス等で、防鳥網が設置してある場合は防鳥網を除去するとともに、粗切り剪定を行い棚等への加重を少なくしましょう。
- 棚や施設に雪が積もった場合は、棚等の荷重バランスに注意しながら、できるだけ速やかに除雪しましょう。
- 立木類では、積雪による枝折れを防ぐため、支柱などで補強を行いましょう。

峡南農務事務所 農業農村支援課

（峡南地域普及センター）生産振興担当

055-240-4131